





おや？  
当館キャラクターの“ヨンデルン”が、職員たちの雑談に聞き耳を立てていますよ。今月はどんな話をしているんでしょう…？

B：年度末になりましたので、今回は今年度の振り返りをしてみたいと思います。

A：何があったっけ？すでに記憶が…

C：産休に入った職員の代わりにDさん（正確に言うとD'さん）に来てもらったことは大きな出来事でした。

D：しばらく仕事から離れていたの、パソコンの使い方など一から思い出すのには苦労しました。

B：人探しは大変でしたけど、来てもらえて本当に有難かったです（拝）

A：それから、ホームページができました。

B：そうでした！それも一大ニュースですよ〜。じゃ、あともう一つ上げてもらって三大ニュースにしよう♪  
美術品調査報告書は？

C：完成したのは昨年度で、配布が今年度ですね。

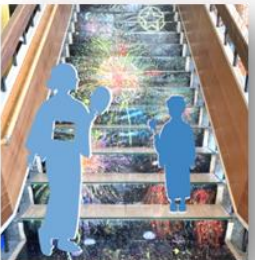
A：毎年のことながら、今年こそはイベントを少な目しようと言っていたにも関わらず…

C：やろうやろう！と言う人がいるから…（笑）

B：へっ（自覚あり）

C：でも花火の階段アート（→）とか、なかなか好評で良かったです。

B：登録作業は思いのほか進まなかったね…



A：まあ想定内くらいかな…

C：今年度 LED 照明に変わったり、自動水栓にしてもらったり、実は館内設備、ちょこちょこ改善されています。D：気づかれていないかもしれないけど、設備面がちょっとずつ良くなってますよね。

A：あとは登録作業に伴う書架の整理ができたことも良かった！

B：そうそう、気になりつつなかなか手を付けられなかった本の場所替えや移籍なんかに着手できて、書架がリフレッシュできました！整理できた棚のところは、やっぱり利用が増えてますもんね。やった甲斐ありましたよ〜。

C：蔵書点検&登録作業も足掛け2年やってるだけあって、ようやく終わりが見えてきましたし。

A：開館しながら通常業務をこなしつつの作業なので、紙の原簿でチェックした前回と同じくらいかそれ以上に時間かかってますよねー。電算化しているところは3日くらいで済むそうですが…（笑）

D：まだ提供できる段階ではないですが、地域資料のデジタル化&複製資料づくりも粛々と進めています。

C：デジタル化っていい響き…（うっとり）

B：ほかに、雑誌ラックの取り付けとか、郷土関連の冊子を整理したコーナー作りとか、年度は違うけどインスタグラムを始めたのも今年からでした。見えにくいことも多かったけど、意外と頑張ってたんです、私たち！

A：来年は50周年でもっと頑張るんだよ？！（笑）

C：頑張りすぎないよう、健康第一でいきましょうー！（笑）

A：そうそう、昨日の晩「あれ書かなきゃ」って思い出したことがあったんだけど、なんだっけな…

B：えー、なにになになににこわいこわいこわい！

出ました、当館名物「やらなきゃいけないことがあった気がする…」（どんな怪談よりもヒヤッと납니다）



## 参加してみませんか？ 古文書を読む会

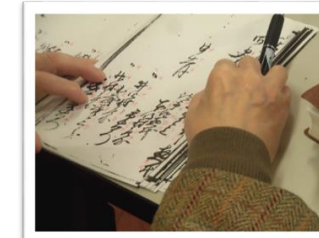
当館では定例講座『古文書を読む会』を実施しています。テキストは江戸時代浜田藩跡市組割元記録「澤津家文書」の原文です。毛筆の崩し字で書かれています。どういう文字を崩したものが大変に分かりにくいですが、また一つの文字に一つの崩し方というわけではなく数種類の崩し方がある文字もあり、読み下すのに苦労するところです。根気強く読む訓練をして慣れていくことが古文書を読むことができるようになる道です。少しでも読むことができるようになると、江戸時代に私たちの身近な地域の人たちがどんな暮らしをして、どのようなことを考えていたかを知ることができ、難しくてももっと読んでみたいという意欲が強くなってきます。

興味のある方は当館へお問合せください。

■講師 小川斉子 先生

■開催日時 毎月第2土曜日 14時～16時

■会場 渡津地域コミュニティー交流センター研修室1



### みはしたかこ

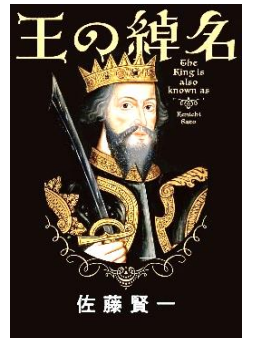


### No12 しちだライフ ホームページ バナーイラスト

しちだライフ ホームページバナー絵  
打ち合わせに社長夫人が同席していたので  
大変緊張した  
ところで、しちだ旧社屋は高台にあり  
窓からの眺めはとても良かった

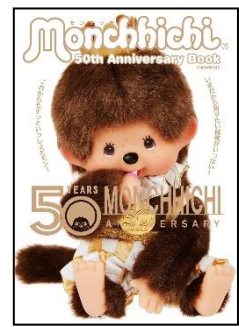
### みはしたかこ

江津市在住イラストレーター、  
はんけし（はんこ消しゴム）作家。



『王の綽名』  
(日経 BP)

綽名で他人を呼ぶということが難しい昨今。でも歴史上の人びとは遠慮なく『うまい』別名をつけられ、その時代を表していたりします。佐藤賢一氏が55人の王の逸話や蘊蓄を教える歴史エッセイです。



『モンチッチ 50th Anniversary Book』  
(ジーウォーク)

当館も2024年は開館50年目のアニバーサリーイヤー。なんとモンチッチと同じ年！なんです。「懐かしい！」「持ってた！」という人はもちろん、そうでなかった人もこのかわいさにやられちゃってください♪

山陰中央新報R6年1月25日『明窓』欄で、全国の本屋さんがこの10年で約3割減り、全市町村の4分の1以上が書店ゼロとなったと記されていました。

電子書籍・ネット通販の普及等様々な要因があるのでしよう。江津駅前通り付近に3軒あった本屋さんは現在1軒だけになり、旧桜江町でも唯一の本屋さんがなくなりました。このように江津市でも全国的な傾向と同様です。

書店と図書館は補完し合いながら、地域文化の拠点の役割を担っていると云っても良いでしょう。

「図書館で借りた本が気に入ったので、購入したい」という利用者の声に応え、当館ではR2年から「書店注文サービス」を実施しています。図書館を通して利用者と本屋さんを繋ぐことにより、地元書店活性化の一助になればと思います。ひいては地域の活性化へ繋がれば幸いです。

《参考文献》『図書館100連発』（岡本真・ふじたまさと）『本屋へ行こう！』（洋泉社）『MOOZ』『世界の夢の本屋さん』（清水玲奈・大原ケイ）

雑記帳  
本屋さんがなくなる

請求番号	タイトル	著者
021.2	クリエイターのための権利の本	大串肇；北村崇；木村剛大；ほか
159.7	「人生、こんなはずじゃなかった」の嘆き	加藤諦三
290.9	バックパッカーズ読本 究極の個人旅行ガイド	旅事情報研究会 『格安航空券ガイド』編集部：編
309	社会問題のつくり方 困った世界を直すには？	荻上千キ
375	こんなときどうする？部活動の地域移行に伴う法律相談	山本翔
493.7	認知症ケアと俳句の力	大場敏明；萩森好絵：編著
494.5	がんになった人のそばで、わたしたちにできること	西智弘
547.3	マイク録音が一冊で分かる本	中村公輔
590	60歳からは自分育てと“好き”を楽しむ	
596.6	体にやさしいクリームのおやつ 卵も乳製品も使わない	今井ようこ
721.8	日本の図像 刺青 TATOO:	濱田信義：編著
751	釉薬づくり入門 有田焼の老舗材料店に教わる調合例	深海宗佑
767.8	生まれ変わったらパリジェンヌになりたい	淡谷のり子：著 早川茉莉：編
816.2	比喩の辞典 もの・こと・ことばのイメージから引ける	中村明
816.6	さみしい夜にはペンを持って	古賀史健
913.6	仕事のためには生きてない	安藤祐介
913.6	シャーロック・ホームズの凱旋	森見登美彦
913.6	ともぐい	河崎秋子
914	BLANK PAGE 空っぽを満たす旅	内田也哉子
930	殺人は容易ではない アガサ・クリスティーの法科学	カーラ・ヴァレンタイン：著 久保美代子：訳
E	もうじきたべられるぼく	はせがわゆうじ
E	おふろのぼうず	乾菜里子：作 石井聖岳：絵
E	波を編む人	やすとみかよ：文 まつばやしかずこ：絵
E	ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？	中山信一：え 高岡昌江：ぶん
K411	算数ひみつの7つ道具 小学校で習う計算が5秒で解ける	あきとんとん
K457	ふしぎ・びっくり!? こども図鑑 きょうりゅう	小島郁生：監修
K645	知っておこう！いっしょに暮らす動物の健康・病気のこと イヌ・ネコ	平林雅和：監修
K913	手話だからいえること泣いた青鬼の謎	丸山正樹：作 高杉千明：絵
C726	くらべて、けみして 校閲部の九重さん	こいしゆうか
C	【CD】ACTOR'S THE BEST ~Melodies of Screens	柴咲コウ



社会に対して、「おかしくない？」と感じても、「それってわかまかも…」と思ってしまうあなたへ。

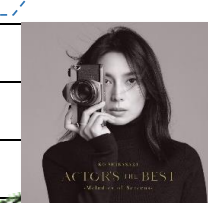


朝ドラを見ながら、こんな気概のある人だったのだと、初めて知った。

これを読めば、日記をつけ始めたいこと間違いなし！自分をほんの少し好きになれる。



確かにゾウのはなの中って、どうなっているか気になる！



音楽活動20周年を記念して作成されたアルバム。

■ 江津市図書館 ■

【本館】〒695-0011 島根県江津市江津町 995 ■ TEL (0855) 52-0551  
FAX (0855) 52-0552

【桜江分館】〒699-4226 島根県江津市桜江町川戸 11-1 ■ TEL/FAX (0855) 92-0300  
開館日：水曜日～月曜日 休館日：火曜日・毎月末日・特別整理休館日・年末年始  
開館時間：(通常業務) 午前10時～午後6時